

TEAC

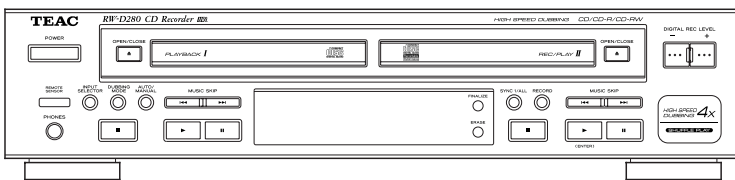
取扱説明書



RW-D280

CDレコーダー

安全にお使いいただくために	2
コンパクトディスクについて	5
接続	7
リモコンの使用方法	8
付属品の確認	9
各部の名称	9
CDを簡単にダビングするには	
(4倍速/2倍速)	12
再生	14
リPEAT再生	17
プログラム再生	18
シャッフル再生	20
イントロチェック	20
録音の前に	21
CDをダビングするには	
(4倍速/2倍速/1倍速)	22
録音するとき便利な機能	24
外部機器からの録音	26
消去 (CD-RWのみ)	28
ファイナライズ	29
ディスプレイの表示	30
メッセージ一覧	31
おや?故障かな?	32
仕様	32
お手入れ	32
保証とアフターサービス	33



お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



一般的な注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け



一般的な強制



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。

機器の内部に異物や水などが入ったときは。

この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

	<p>電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。</p>
	<p>電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>通風孔に異物を入れない。 内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>通風孔をふさがない。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。
また、接続は指定のコードを使用する。

電源を入れる前には音量を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

カセットテープやディスクの挿入口に手を入れない。
特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

コンパクトディスクについて

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(25ページ)すると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります。)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし消去できるのは、全曲または最後に録音した曲だけです。途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

本機のトレイ I ではCDおよびファイナライズされたCD-R、CD-RWを、トレイ II ではCD、CD-R、CD-RWを使用することができます。

ファイナライズ

TOC(録音したデータの情報)をディスクに記録することをファイナライズといいます。

ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

(TOC : Table of Contents)

使用上の注意

音楽用の **DIGITAL AUDIO**表示のあるCD、CD-RおよびCD-RWをお使いください。

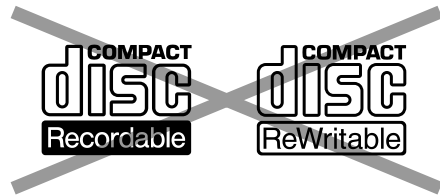
(音楽用のCD-R/CD-RWの価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれています。)

音楽用のディスク



本機では、"DIGITAL AUDIO"表示のないコンピュータ用のCD-RおよびCD-RWに録音することはできません。

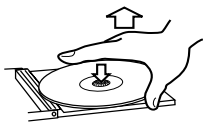
コンピュータ用のディスク



コンピュータなどを使用して記録されたコンピュータ用のCD-R/CD-RWは、音声規格(IEC958:コンシューマ部)に従って正しく録音されていれば再生することができますが、本機で録音/ファイナライズ/消去することはできません。

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの録音/再生は片面だけです。)

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

- 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。

- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

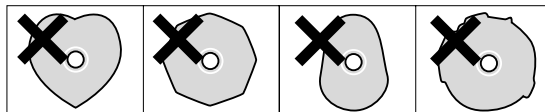
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

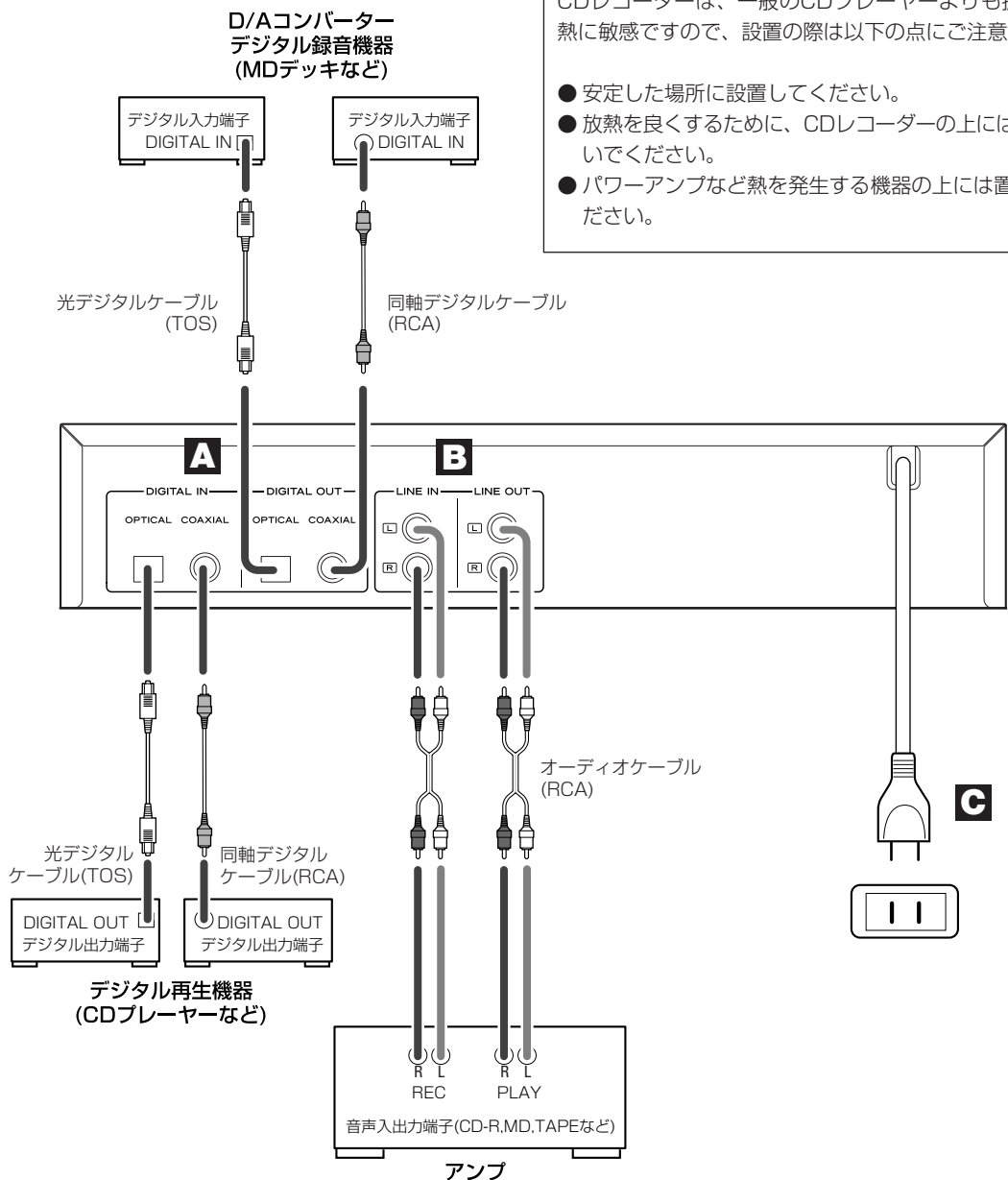
⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

⚠ 設置の注意

本機の動作保証温度は5度～35度です。
CDレコーダーは、一般のCDプレーヤーよりも振動に弱く、熱に敏感ですので、設置の際は以下の点にご注意ください。

- 安定した場所に設置してください。
- 放熱を良くするために、CDレコーダーの上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。



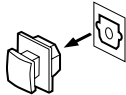
リモコンの使用方法

A デジタル入出力端子

[DIGITAL IN/OUT]

光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルを使って、CDプレーヤー、MDデッキ、CS/BSチューナー、D/Aコンバーターなどのデジタル入出力端子(DIGITAL IN/OUT)と接続します。

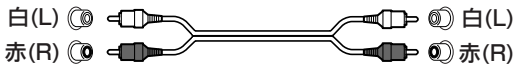
- 光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



B 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

アナログで録音/再生するときに使用します。アンプやカセットデッキなどの音声入出力端子と接続してください。

- アンプ側にCD-R用の入出力端子がない場合は、MD、TAPE用の端子に接続してください。
- オーディオケーブルは、白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。



- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

- ⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

結露現象について

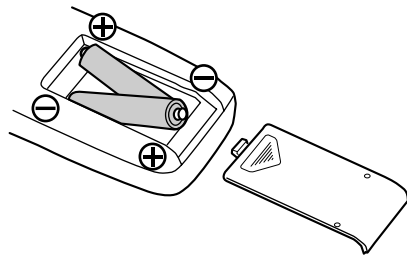
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1~2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

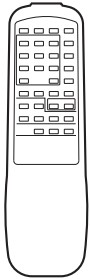
電池についての注意

- ⚠ 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。



リモコン×1個



リモコン用乾電池
(単3)×2本



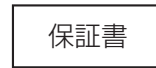
オーディオケーブル(RCA)×2本



光デジタルケーブル(TOS)×1本

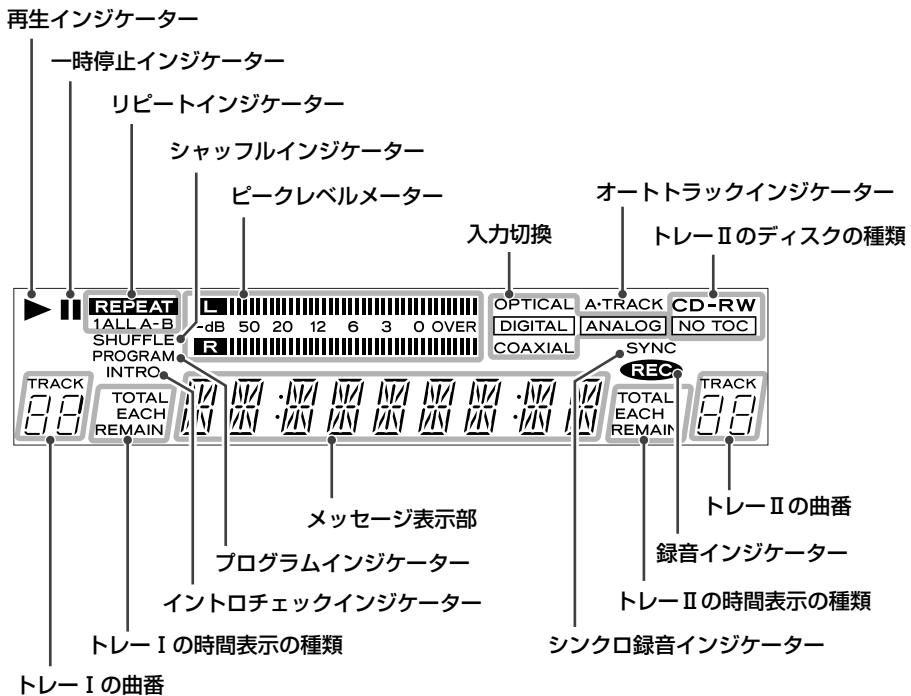


取扱説明書
(本書)



保証書

各部の名称 (ディスプレイ)



各部の名称 (本体正面)

電源ボタン

電源のオンとオフを切り換えます。

ダビングモードボタン(22ページ)

ダビングの速度を切り換えます。

トレー I 開閉ボタン

ディスクトレーを開閉します。

オート/マニュアルボタン(24ページ)

曲番の付け方を設定します。

シンクロ1/オールボタン(25ページ)

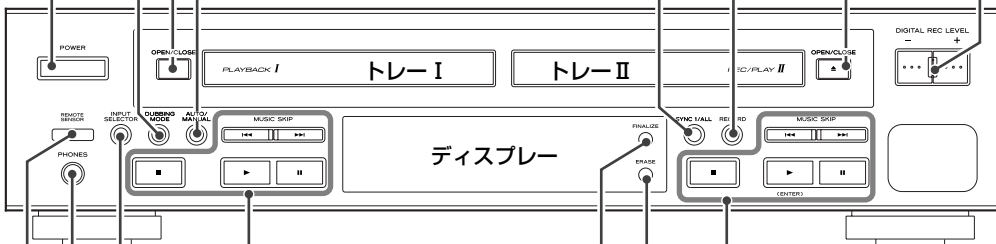
デジタルシンクロ録音に使用します。

録音ボタン(26ページ)

トレー II 開閉ボタン

デジタル録音レベル(26ページ)

録音レベルを調節します。



トレー I 操作ボタン(14ページ)

入力切換ボタン(26ページ)

外部機器から録音するときに、入力を切り換えます。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを使用するときは、ここにヘッドホンプラグを差し込んでください。

リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

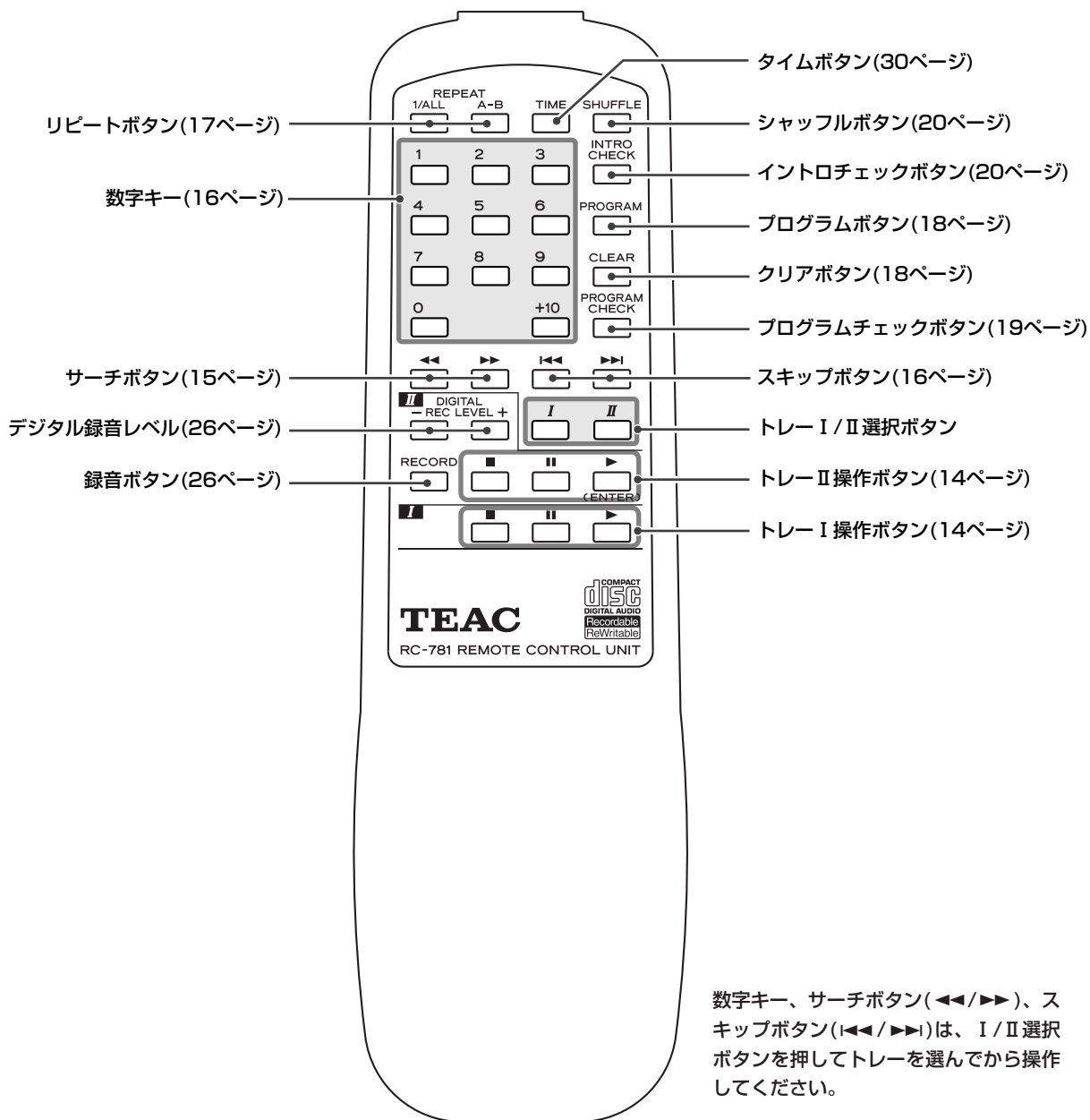
消去ボタン(28ページ)

CD-RWのアンファイナライズと消去に使用します。

ファイナライズボタン(29ページ)

CD-R/CD-RWのファイナライズに使用します。

各部の名称 (リモコン)

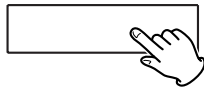


CDを簡単にダビングするには(4倍速/2倍速)

CDをそのままコピーする一番簡単な方法です。4倍速または2倍速のダビングが終わると、自動的にファイナライズします。詳しいダビング方法については、22ページをご覧ください。

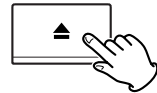
1 電源を入れる。

POWER

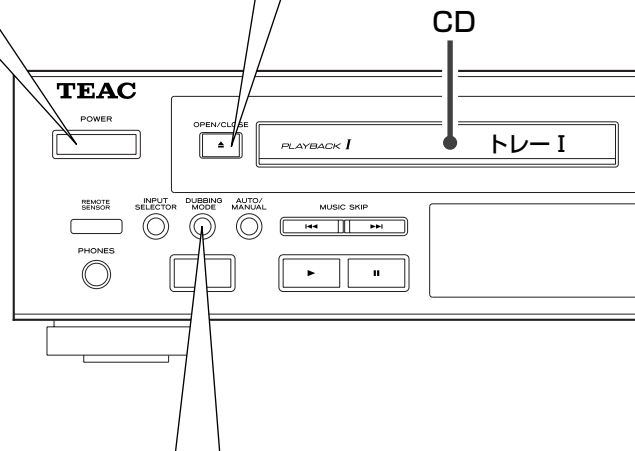


2 トレー I にCDを、トレイ II に録音用の

OPEN/CLOSE



OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すとディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSEボタン(▲)を押してトレイを閉めてください。

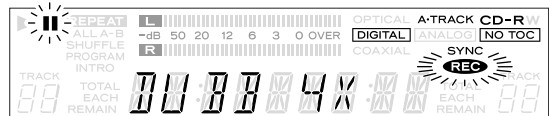


3 DUBBING MODEボタンを押して"DUBB 4X"または"DUBB 2X"を選ぶ。

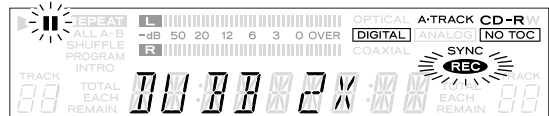
DUBBING
MODE

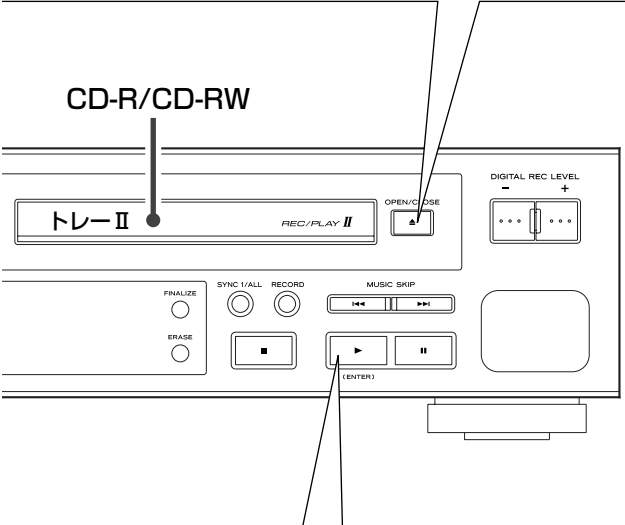
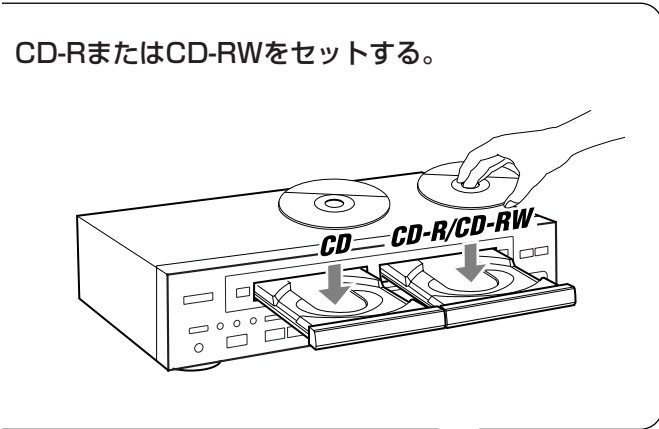


4倍速



2倍速





4 トレー II の再生 [ENTER] ボタン (▶) を押す。

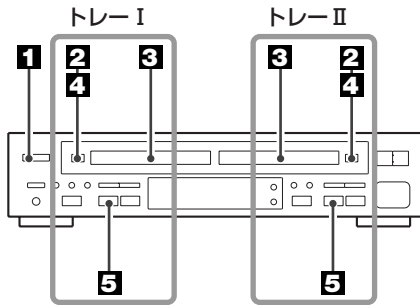
ダビングが始まります。ダビングが終わると、自動的にファイナライズ(29ページ)して停止します。

- シングルCDなど録音時間が短いものを何枚も録音する場合など、ファイナライズしたくないときは、1倍速でダビングしてください(22ページ)。
- 2倍速/4倍速ダビング中は、トレー I または II の停止ボタン(■)しか機能しません。
- ダビングを中断するときは、トレー I または II の停止ボタン(■)を押してください。(中断した場合は、ファイナライズはされません)
- 2倍速/4倍速ダビングが終わると自動的にファイナライズします。
ファイナライズには約1分かかります。
ファイナライズが終了すると、総録音時間と曲数が表示されます。
- **3**で、トレー II にセットされた録音用ディスクの録音可能時間がトレー I のCDよりも少ない場合は、DUBBING MODE ボタンを押すたびに "NO SPACE : D2" が表示されます。全部の曲をダビングしたい場合は、十分な空きのあるディスクと交換してください。そのままダビングした場合は、録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなるとフェードアウトして録音を終了し、自動的にファイナライズします。
- ダビング中は手動で曲番を付けることはできません。
- 2倍速/4倍速ダビング中は聞き苦しい音が出る場合がありますので、音量にご注意ください。
- CDの中にSCMSの制限のためにデジタル録音できない曲があった場合は、ダビングの速度によって動作が異なります。詳しくは21ページをご覧ください。
ダビングを中断する場合は、トレー I または II の停止ボタン(■)を押してください。

録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(29ページ)

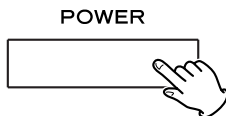
CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

録音およびファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

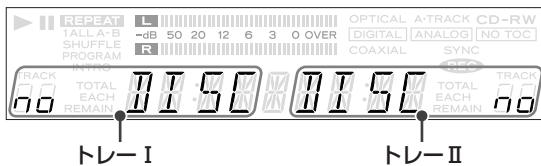


本機のトレイ I ではCDおよびファイナライズ済のCD-R、CD-RWを、トレイ II ではCD、CD-R、CD-RWを再生することができます。

1 電源を入れる。

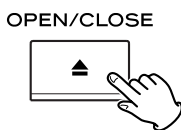


ディスクがセットされていない場合は、"READING"が点滅したあと "no DISC DISC no"が表示されます。

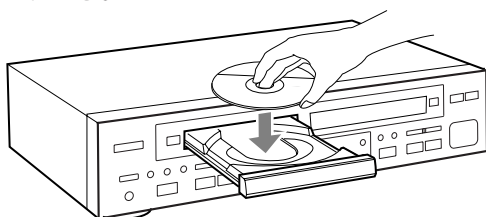


2 トレイ I または II の OPEN/CLOSE ボタン (▲) を押す。

ディスクトレイが手前に出ます。

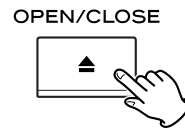


3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせる。



4 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。

ディスクトレイが閉まります。



トレイ II のディスクの種類

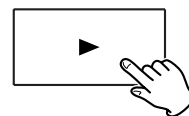


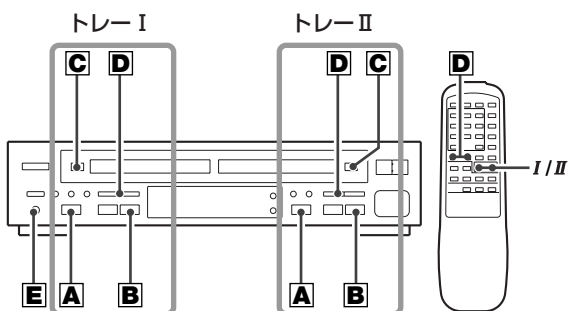
"READING"が点滅したあと、総曲数と総再生時間が表示されます。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- トレイ II にディスクをセットした場合は、ディスクの種類が表示されます。ファイナライズされていないCD-R/CD-RWをセットした場合は"NO TOC"が点灯します。また、何も録音されていないCD-R/CD-RWをセットした場合は"BLANK"が表示されます。

5 再生したいトレイの再生ボタン(▶)を押す。

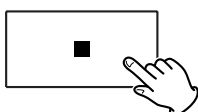
一曲目から再生が始まります。





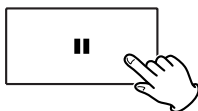
A 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。



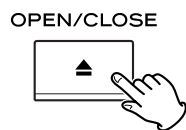
B 再生を一時停止するには

一時停止ボタン(⏸)を押すと再生が一時停止します。
一時停止ボタン(⏸)または再生ボタン(▶)を押すと、
停止していたところから再び再生が始まります。



C ディスクを取り出すには

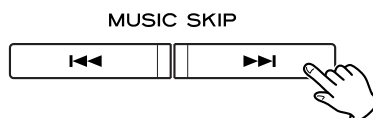
OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すと、再生が停止して
ディスクトレイが開きます。



D 聴きたい部分を探すには(サーチ)

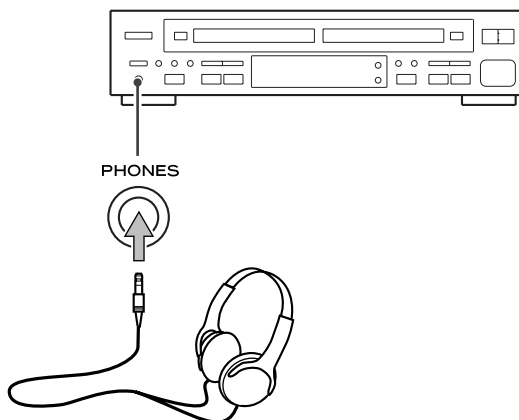
再生中にMUSIC SKIPボタン(⏮/⏭)を押したま
までいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分
が見つかったら指をはなしてください。

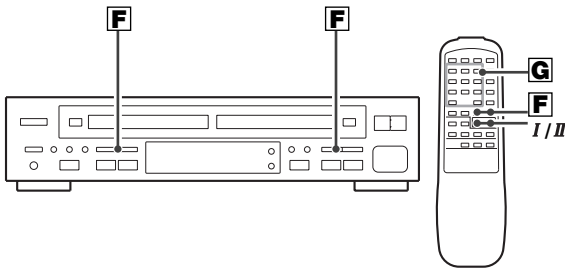
- リモコンの場合は、I または II ボタンで操作したいト
レイを選んでから、サーチボタン(⏮/⏭)を押して
ください。



E ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンプラグをPHONESジャックに差し込んで
ください。





F 好きな曲から再生するには(スキップ)

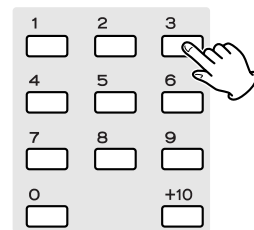
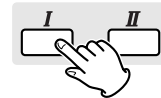
再生中にMUSIC SKIPボタン(◀◀/▶▶)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。



- 停止中および一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。再生ボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、◀◀を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- リモコンの場合は、IまたはIIボタンで操作したいトレーを選んでから、MUSIC SKIPボタン(◀◀/▶▶)を押してください。

G リモコンで再生したい曲を選ぶには

停止中または再生中に、リモコンのIまたはIIボタンで操作したいトレーを選んでから数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。

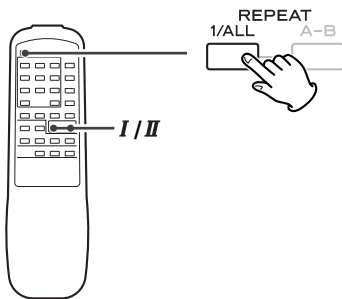


曲番7:

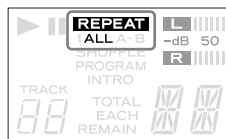
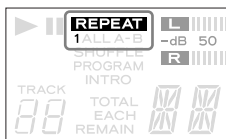
曲番23: ⇒ ⇒

- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- シャッフル再生モードでは操作できません。
- プログラム再生モードでは、数字キーは曲のプログラムに使用しますので、選曲には使えません。
- "READING"の点滅中にそのディスクに存在しない曲番を押すと、一番最後の曲が再生されます。

リピート再生



リモコンのREPEAT 1/ALLボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。



■一曲リピート[REPEAT 1]

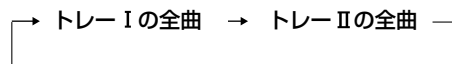
再生中にREPEAT 1/ALLボタンを押して“REPEAT 1”を選ぶと、再生中の曲が繰り返し再生されます。一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲の繰り返し再生に変わります。

- 停止中に一曲リピートに設定してから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

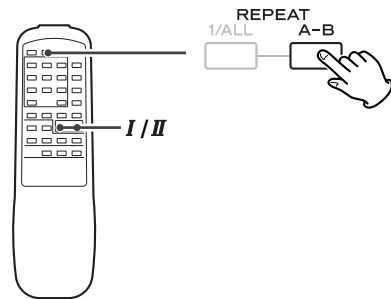
■全曲リピート[REPEAT ALL]

ディスクの全ての曲を繰り返し再生します。プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

- 両方のトレーにディスクがセットされている場合は、ディスクの全曲を交互に繰り返し再生します。



(5回再生すると停止します)

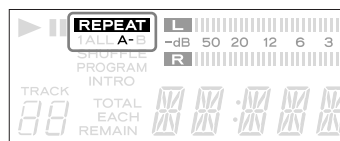


■A-Bリピート

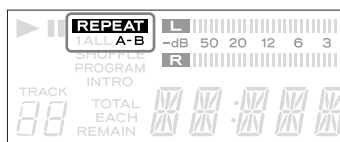
ある一曲の中の特定の部分を繰り返し再生することができます。

CDを再生し、繰り返しを始めた部分(A点)になったらA-Bボタンを押します。

“REPEAT A-”が点灯します。

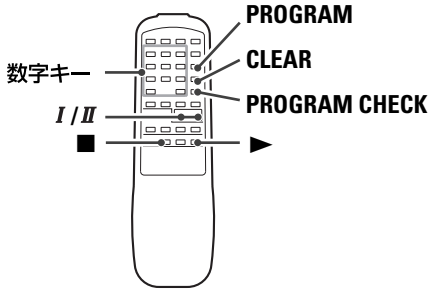


終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)が繰り返し再生されます。



- もう一度A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
- A点を指定したあと、B点を指定する前に次の曲に行ってしまった場合、およびMUSIC SKIPボタンを押してスキップした場合は、A-Bリピートは解除されます。
- A点を指定したあと、B点まで早送り(サーチ)することは可能です。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWでA-Bリピートすることはできません。
- 一曲リピートまたは全曲リピート再生中は、A-Bボタンを押しても反応しません。
- A-Bリピート再生中は、REPEAT 1/ALLボタンを押しても反応しません。

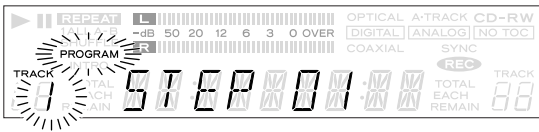
プログラム再生



両方のディスクから聴きたい曲を聴きたい順に、32曲までプログラムして再生することができます。

- 再生中はプログラムできません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

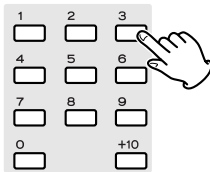
1 停止中にリモコンのPROGRAMボタンを押す。



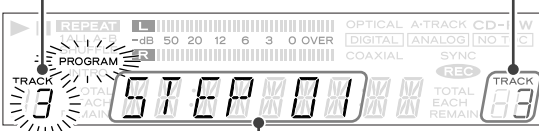
"STEP 01"が点灯し、曲番"1"と"PROGRAM"インジケーターが点滅します。

2 曲番を選ぶ。

リモコンの I または II を押してトレーを選んでから、数字キーで曲番を選んでください。



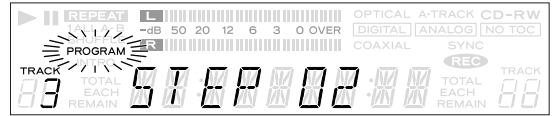
選んだ曲番(トレー I の曲を選んだ場合)
選んだ曲番(トレー II の曲を選んだ場合)



プログラム番号(1~32)

- MUSIC SKIPボタンでもプログラムできます。
- 曲番を間違えた場合は、数字キーを押し直してください。

3 PROGRAMボタンを押す。

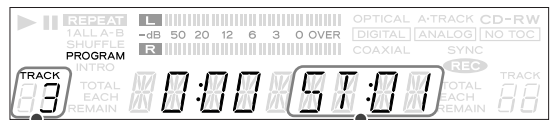
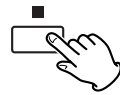


一曲目のプログラムが完了し、次のプログラム番号(STEP 02)が表示されます。

- 複数の曲目をプログラムするときは、**2**と**3**の操作を繰り返してください。
同じディスクの曲から続けてプログラムする場合は、I/II ボタンを押す必要はありません。
- 32曲までプログラムできます。32曲を越えると"PGM FULL"が表示されます。
- 曲番を選ばずにPROGRAMボタンを押した場合は、選択されていたディスクの1曲目がプログラムされます。

プログラムを中断したい場合は、停止ボタンを押してからCLEARボタンを押してください。

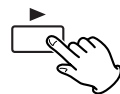
4 全てのプログラムが終わったら停止ボタン(■)を押す。



最初に選んだ曲番

プログラム番号(ステップ: 01)

5 再生ボタン(▶)を押す。



プログラム再生が始まります。

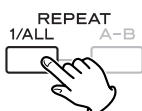
プログラムされた全ての曲の再生が終わると、**4**の状態に戻ります。

A プログラムした内容を確認するには

停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押すと、曲番とプログラム番号が順番に表示されます。



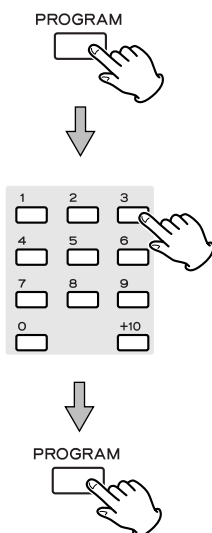
B プログラムした曲をリピート再生するには



プログラムしたあと、REPEATボタンを2回押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

C プログラムに曲を追加するには

停止中にPROGRAMボタンを押してから**2**と**3**の操作を繰り返すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

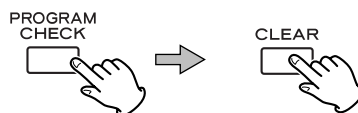


D プログラムの一部を変更するには



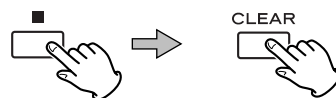
停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押して、変更したいプログラム番号を表示させます。数字ボタンで曲番を選んでPROGRAMボタンを押すと、新しい曲番がプログラムされます。

E プログラムの一部を消去するには



停止中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押して、削除したいプログラム番号を表示させてからCLEARボタンを押すと、その曲だけがプログラムから削除され、それよりあとに登録されていた曲のプログラム番号が繰り上がります。

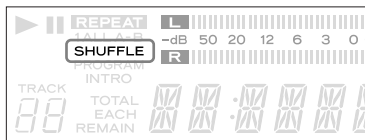
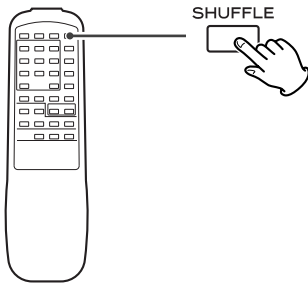
F 全てのプログラム内容の消去



4の状態ではCLEARボタンを押すと、全てのプログラム内容が消去されます。再生中またはプログラムの編集中は、停止ボタンを押してからCLEARボタンを押してください。

どちらかのトレーを開閉すると、プログラム内容は消去されます。POWERボタンを押すと、プログラム内容は消去されます。

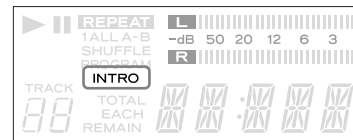
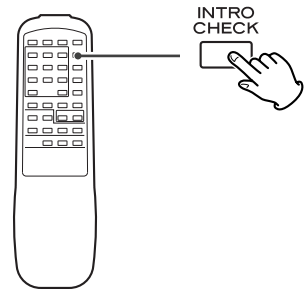
シャッフル再生



停止中または再生中にリモコンのSHUFFLEボタンを押すと、シャッフル再生モードになります。シャッフル再生モードで再生すると、両方のディスクの曲がランダムに再生されます。

- シャッフル再生中にMUSIC SKIPボタン(▶▶)を一回押すと、次の曲がランダムに選択されます。◀◀を押すと、現在の曲の頭に戻ります。
- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- シャッフル再生を中断したいときは、停止ボタン(■)を押してください。
- シャッフル再生モードを解除したいときは、SHUFFLEボタンを押してください。また、電源を切ると解除されます。

イントロチェック



停止中にリモコンのINTRO CHECKボタンを押してから再生ボタンを押すと、各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。聴きたい曲の再生中にINTRO CHECKボタンを押せば、そこから通常の再生に戻ります。

- 再生中にINTRO CHECKボタンを押した場合は、次の曲からイントロチェックが始まります。
- 再生を始めてから10秒以内にINTRO CHECKボタンを押した場合は、その曲からイントロチェックが始まります。
- プログラムされた状態でINTRO CHECKボタンを押すと、プログラムされている曲が順番に10秒ずつ再生されます。

両方のトレーにディスクがセットされていた場合は、片方のディスクのイントロチェックが終わるともう片方のディスクのイントロチェックを始めます。全ての曲のイントロチェックが終わると、停止します。イントロチェックモードを解除したい場合は、もう一度INTRO CHECKボタンを押してください。

録音の前に

- CDの規格により、99曲までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。
- 録音を開始してから4秒以内に停止ボタン(■)または一時停止ボタン(■)を押した場合は、4秒になってから停止します。その間は無音録音状態になります。
- 録音の途中でディスクが99曲になった場合は、その曲が終わると録音を停止します。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなった場合は、フェードアウトしたあと自動的にファイナライズして、停止します。
生放送などを長時間録音するためにディスクを交換する場合は、ディスクの録音可能時間がなくなる前に停止ボタンを押して録音を停止し、新しいディスクに交換してから再び録音を始めてください。ディスクの録音可能時間は、リモコンのTIMEボタンを押すと確認できます。(30ページ)
- 途中まで録音してあるディスクを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。
- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。
- ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。(28ページ)
- シンクロ録音機能やオートトラック機能を使う場合、本機はインクリメントレベルで設定したレベルに従って録音を開始し、曲を区切ります。そのため、冒頭や曲間に無音部分のあるソースを録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。
- 一曲をリピート再生して録音すると、曲番が正しく付かないことがあります。
- HDCDマークの付いたCDは、通常のCDのフォーマットで録音されます。

オートサンプリングレートコンバーター

一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

- 48kHz : DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
- 44.1kHz : DATの標準モード、CD、MDなど。
- 32kHz : DATの標準および長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、CDと異なるサンプリング周波数のソースや、ピッチコントロールのかかったデジタル信号が入力された場合、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。これにより、サンプリング周波数が32kHz~48kHzのソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

デジタル録音するときのルール

シリアルコピーマネージメントシステム

本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音すること(コピー)」を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

「CD、MDなど市販のデジタル音楽ソフト」や、「アナログレコードやFM放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。

ダビング中または録音中に、SCMSの制限のためにデジタル録音できない曲があった場合

1倍速ダビング中

録音一時停止状態になり"CAN'T COPY"を表示します。トレーⅡの再生ボタン(▶)を押すと、その部分はアナログで録音し、SCMSが解除されると再びデジタルで録音を始めます。
その曲を抜かして録音する場合は、停止ボタンを押して一旦録音を終了し、次の曲からプログラムし直して、録音してください。

2倍速ダビング中

録音一時停止状態になり、"CAN'T COPY"を表示します。トレーⅡの再生[ENTER]ボタン(▶)を押すと、その曲はスキップして次のデジタル録音が可能な曲から録音を続けます。

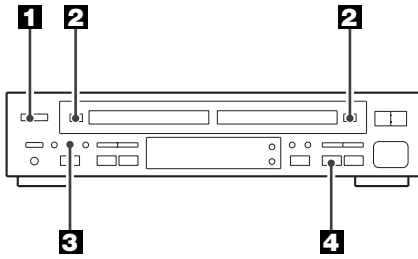
4倍速ダビング中

トレーⅡが録音一時停止状態になり"CAN'T COPY"を表示します。トレーⅠはそのまま再生を続けます。SCMSが解除されると、再び録音を始めます。

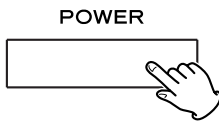
外部機器からの録音中(デジタル入力)

"CAN'T COPY"を表示したあと、録音を終了します。

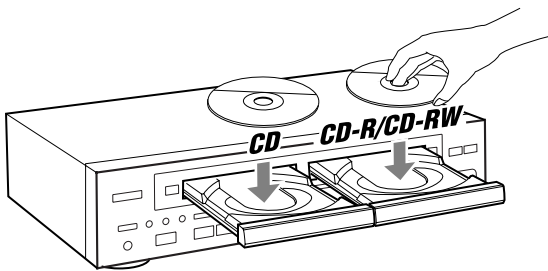
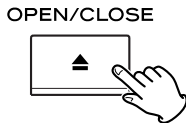
CDをダビングするには(4倍速/2倍速/1倍速)



1 電源を入れる。



2 トレー I にCDを、トレー II に録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すとディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSEボタン(▲)を押してトレイを閉めてください。

- 何も録音されていないディスクをセットすると、"BLANK"が表示されます。

3 DUBBING MODEボタンを押して、ダビングの速度を選ぶ。



- DUBBING MODEボタンを押すたびに、ダビングの速度が切り換わります。

DUBB 4X(4倍速ダビング)、DUBB 2X(2倍速ダビング)
一枚のCDをそのままコピーする場合は、2倍速または4倍速を選ぶと短時間で簡単にダビングできます。2倍速/4倍速ダビングが終わると、自動的にファイナライズします。



DUBB 1X(1倍速ダビング)

CDの一部または好きな曲だけを選んで録音する場合は、録音する曲をプログラムしてから"DUBB 1X"を選んでください。(プログラム方法についてはは18ページをご覧ください。)

また、シングルCDなど録音時間が短いものを録音する場合も、1倍速でダビングしてください。

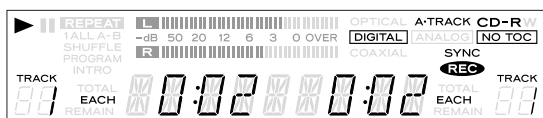
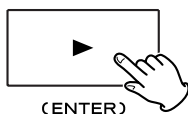


トレイ II にセットされた録音用ディスクの録音可能時間がトレイ I のCDよりも少ない場合は、DUBBING MODEボタンを押すと"NO SPACE : D2"が表示されます。全部の曲をダビングしたい場合は、十分な空きのあるディスクと交換してください。

そのままダビングした場合は、録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなるとフェードアウトして録音を終了し、自動的にファイナライズします。

4 トレー II の再生[ENTER]ボタン(▶)を押す。

ダビングが始まります。



- ダビング中は手動で曲番を付けることはできません。
- ダビング中はトレイ I または II の停止ボタン(■)しか機能しません。
- ダビングを中断するときは、トレイ I または II の停止ボタン(■)を押してください。
- CDの中にSCMSの制限のためにデジタル録音できない曲があった場合は、ダビングの速度によって動作が異なります。詳しくは21ページをご覧ください。

録音中およびファイナライズ中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(29ページ)

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

1倍速ダビングについて

- 1倍速ダビングが終わると、ディスプレイには次のように表示されます。

"PMA WRITE" : ディスクに記録中です。

"COMPLETE" : 記録が完了しました。

- 1倍速ダビングを選ぶと、自動的にSYNC ALLになります。一曲だけ録音したいときは、SYNC-1に設定しなおしてください。(25ページ参照)
その曲の再生が終わると、トレイ II は録音待機状態になります。トレイ II の停止ボタンを押して録音を終了してください。

2倍速/4倍速ダビングについて

- トレー I または II の停止ボタン(■)を押してダビングを中断した場合は、ファイナライズはされません。
- 2倍速/4倍速ダビングが終わると自動的にファイナライズします。ディスプレイには次のように表示されます。

"PMA WRITE" : ディスクに記録中です。

"COMPLETE" : 記録が完了しました。

"FINALIZE" : ファイナライズ中です。

"COMPLETE" : ファイナライズが完了しました。

ファイナライズには約1分かかります。

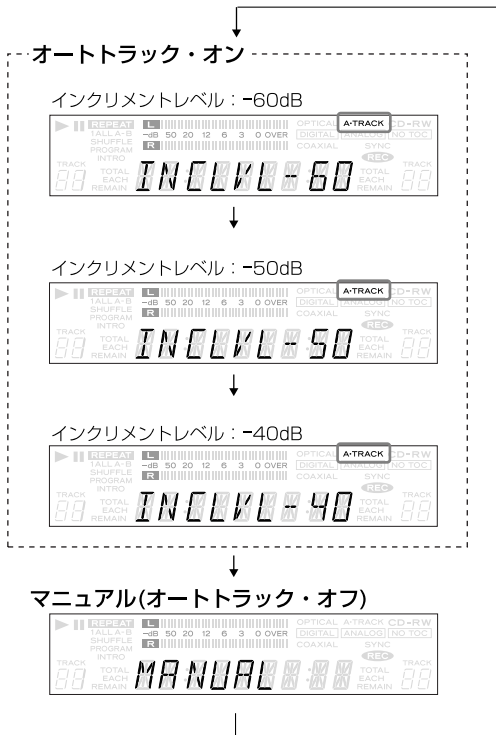
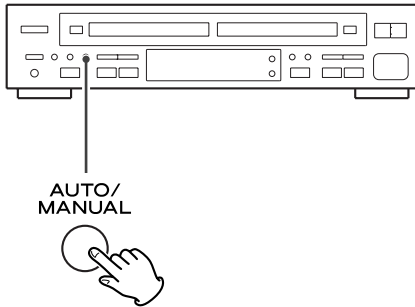
ファイナライズが終了すると、総録音時間と曲数が表示されます。

- 2倍速/4倍速ダビングを選ぶと、自動的にSYNC ALLになります。SYNC-1を選ぶことはできません。
- トレー I にセットしたディスクに傷、汚れやソリがあると、うまくダビングできないことがあります。特に4倍速でダビングする際は、傷などの影響を受けやすくなりますので、十分ご注意ください。ディスクの状態が悪いときは、1倍速または2倍速でダビングしてください。

録音するとき便利な機能

オートトラックとインクリメント

AUTO/MANUALボタンを押すたびに表示が変わります。



- 2秒経つと元の表示に戻ります。
- トレー II にディスクがセットされていないときは、AUTO/MANUALボタンを押しても機能しません。

オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。

オートトラックがオンのときは、ディスプレイに“A-TRACK”が表示されます。

電源を入れたときは、オン(-60dB)になっています。

ダビングする場合

オートトラックは常にオンになります。デジタル信号で曲の変わり目を検出すると、自動的に曲番を更新します。

RECORDボタンで曲番を追加することはできません。

外部機器から録音する場合

デジタル入力で録音する場合は、デジタル信号で曲の変わり目を検出すると、自動的に曲番を更新します。

アナログ入力で録音する場合は、入力信号が3秒以上続けて無音状態(設定したインクリメントレベル以下)になったあとに次の曲が始まると、自動的に曲番を更新します。

オートトラックがオフ(MANUAL)のときは、録音中、曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。

オートトラックがオンのときでも、録音中にRECORDボタンを押すと曲の途中で曲番を追加することができます。

- デジタル放送など、トラック番号の付いていないソースをデジタル入力で録音する場合、オートトラックをオンにしても曲番は付きません。録音中に曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して、曲番を付けてください。
- クラシックなど曲間に無音部分のあるソースをアナログ入力で録音する場合、オートトラックをオンにしてもうまく曲番が付けられないことがあります。その場合はオートトラックをオフにして、録音中に曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。
- DVDプレーヤーでCDを再生してデジタル録音する場合、オートトラックをオンにしても曲番が付かないことがあります。

インクリメントレベル

「外部機器からアナログ入力で録音する際にオートトラックで曲番を付けたいとき」や、「CD、MD、DATなどのデジタルソースをデジタルシンクロ録音するとき」に、「無音状態」として検出するための音のレベルです。

この取扱説明書では、録音するソースのレベルが設定した値より低い状態のことを、**無音状態**と呼びます。

選択できる数値は、-60,-50,-40dBです。

電源を入れたときは-60dBになっています。
CDをデジタル入力で録音する場合は、CDのデジタル信号に従って曲番を付けますので、通常はインクリメントレベルを変更する必要はありません。

曲番がうまく付かない場合

雑音のあるソースをアナログ入力で録音するときに、インクリメントレベルをその雑音より下に設定してしまうと、曲番が付かないことがあります。その場合はインクリメントレベルを高くしてください。

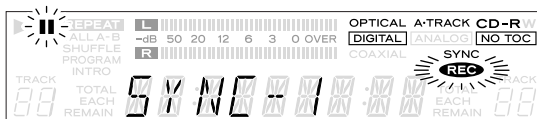
小さな音から始まる曲を録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、インクリメントレベルを低くしてください。

デジタルシンクロ録音

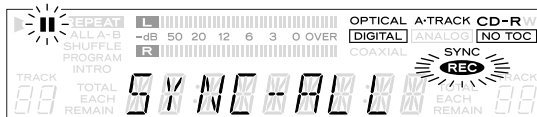
シンクロ録音機能は、CDプレーヤーやMDデッキなど外部に接続した機器からデジタル録音するときに便利です。

- 1 26ページの3のあとに、**SYNC 1/ALL** ボタンを押して**SYNC 1**または**SYNC ALL**を選ぶ。

SYNC 1：一曲だけシンクロ録音する場合



SYNC ALL：全ての曲をシンクロ録音する場合



- 2 "READY"が表示されてから、**トレー IIの再生ボタン(▶)**を押す。

- 3 録音するソースの再生を始める。

CDやMD、DATの場合は、デジタル信号で曲の変わり目を検出するとシンクロ録音を開始します。

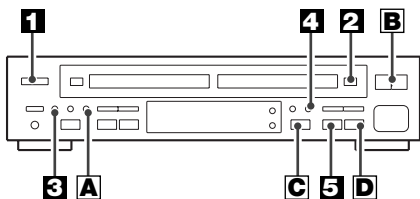
上記以外のデジタルソースの場合は、インクリメントレベルで設定した値よりも大きな音を検出した時点でシンクロ録音を開始します。

- 無音状態が5秒続くと録音を停止します。

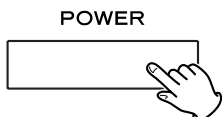
シンクロ録音がうまく働かない場合

- 雑音のあるソースをシンクロ録音するときに、インクリメントレベルをその雑音より下に設定してしまうと、シンクロ録音できなかつたり、ソースを再生していないのに録音を開始してしまうことがあります。その場合はインクリメントレベルを高くしてください。
- 小さな音から始まる曲を録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、インクリメントレベルを低くしてください。
- 曲の中に5秒以上の無音部分があるソースをシンクロ録音すると、無音部分で録音を停止してしまいますので、シンクロ録音機能は使わないでください。

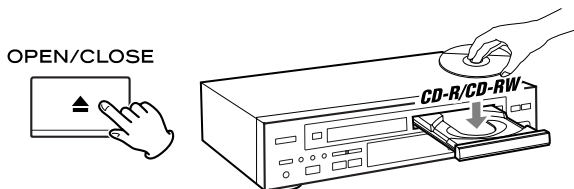
外部機器からの録音



1 電源を入れる。

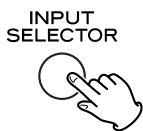


2 トレー II に録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すとディスクトレイが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせてから、OPEN/CLOSEボタン(▲)を押してトレイを閉めてください。

3 INPUT SELECTORボタンを押して録音するソースを選ぶ。



INPUT SELECTORボタンを押すたびに、以下のように入ります。

- OPTICAL DIGITAL** DIGITAL OPTICAL (デジタル入力) : 光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき
- DIGITAL COAXIAL** DIGITAL COAXIAL (デジタル入力) : 同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき
- ANALOG** ANALOG (アナログ入力) : LINE INに接続した機器から録音するとき

必要に応じて以下の項目を変更してください。変更する必要がない場合は**4**に進んでください。

A 曲番の付け方(オートトラック)

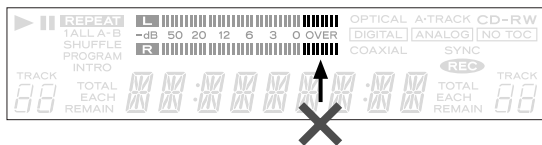
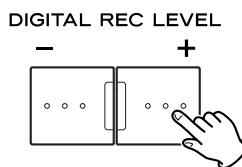
AUTO/MANUALボタンを押して、曲番の付け方を選んでください(24ページ)。



- デジタル放送など、トラック番号の付いていないソースをデジタル入力で録音する場合、オートトラックをオンにしても曲番は付きません。録音中に曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して、曲番を付けてください。
- クラシックなど曲間に無音部分のあるソースをアナログ入力で録音する場合、オートトラックをオンにしてもうまく曲番を付けられないことがあります。その場合はオートトラックをオフにして、録音中に曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。

B 録音レベル

DIGITAL REC LEVELボタンを押すと、±6dBの範囲で1dB刻みに録音レベルを調節できます。電源を入れたときは0dBになっています。CDなどを録音する場合、通常は0dBにしてください。



録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように調節してください。"OVER"の部分が点灯すると、音が歪んでしまいます。

4 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になります。



5 録音を始める。

トレーIIの再生ボタン(▶)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。



- 録音中にRECORDボタンを押すと曲番が付きます。
- 録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。
- デジタル入力で録音しているときに、SCMSの制限のためにデジタルで録音できない曲があった場合は、"CAN'T COPY"を表示したあと、録音を終了します。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間がなくなった場合は、フェードアウトしたあと自動的にファイナライズして、停止します。ファイナライズには約1分かかります。

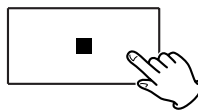
生放送などを長時間録音するためにディスクを交換する場合は、ディスクの録音可能時間がなくなる前に停止ボタンを押して録音を停止し、新しいディスクに交換してから再び録音を始めてください。ディスクの録音可能時間は、リモコンのTIMEボタンを押すと確認できます。(30ページ)

録音が終わったCD-Rをファイナライズすると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(29ページ)

CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

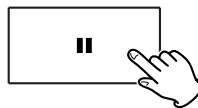
C 録音を止めるには

停止ボタン(■)を押すと、"PMA WRITE"が表示されたあと、録音が停止します。



録音中および"PMA WRITE"が表示されているときは、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

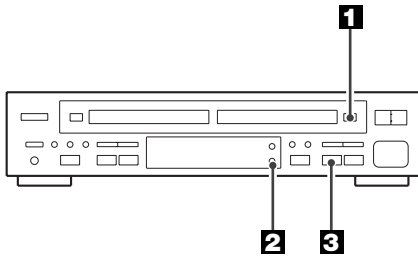
D 録音を一時停止するには



一時停止ボタン(||)を押すと一時停止状態になり、||と"REC"が点滅します。再生ボタン(▶)を押すと、再び録音が始まります。

- 一時停止するたびに曲番が付きます。

消去 (CD-RWのみ)



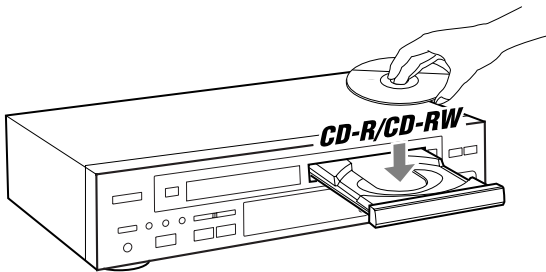
曲を消去するには

CD-RWの「最後に録音した曲」または「全ての曲」を消去することができます。

途中に収録された曲だけを消去することはできません。

ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。

1 トレー II にCD-RWをセットする。



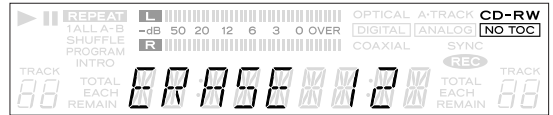
2 ERASEボタンを押して、一曲消去、全曲消去、またはアンファイナライズを選択する。

ERASEボタンを押すたびに切り換わります。

ERASE



一曲消去：最後の曲だけを消去します。(例：曲番12)



全曲消去：全ての曲を消去します。

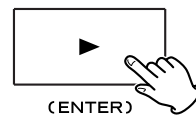


アンファイナライズ



- ファイナライズされていないCD-RWを入れた場合は"ERASE+最後の曲番"と"ERASE ALL"が、ファイナライズ済のCD-RWを入れた場合は"UNFINALIZ"と"ERASE ALL"が表示されます。
- ファイナライズ済のCD-RWの全ての曲を消去しようとすると、自動的にアンファイナライズされます。
- 取り止めたい場合は停止ボタンを押してください。

3 再生(ENTER)ボタンを押す。

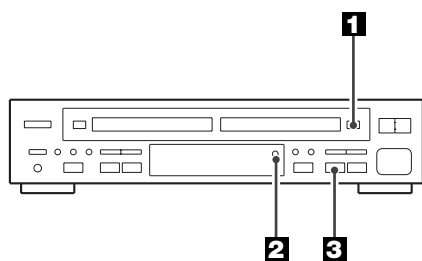


消去が始まります。

消去が完了すると、"COMPLETE"と表示して、停止します。

- 消去中はボタンを押しても機能しません。
- 消去中は電源コードを抜かないでください。
- 複数の曲を消去するときは、一曲消去を繰り返してください。

ファイナライズ

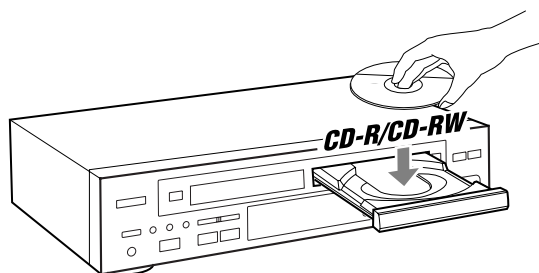


TOC(録音したデータの情報を)ディスクに記録することをファイナライズといいます。

CD-Rをファイナライズすると、通常のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズされたCD-Rにはそれ以上録音することができません。なお、ファイナライズされたCD-Rをセットすると、本機はCDとして認識します。

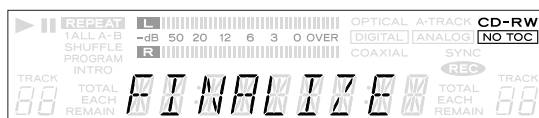
CD-RWをファイナライズすると、CD-RW対応のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください(前ページ)。

1 トレー II にCD-RまたはCD-RWをセットする。



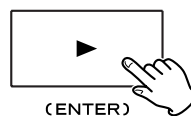
2 FINALIZEボタンを押す。

FINALIZE



- FINALIZEボタンは停止中にしか使えません。
- 中断したい場合は停止ボタンを押してください。

3 再生(ENTER)ボタンを押す。

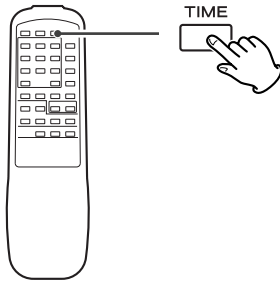


ファイナライズが始まり、「FINALIZE」がスクロールします。
ファイナライズには約1分かかります。

ファイナライズが完了すると、「COMPLETE」と表示して、停止します。

- ファイナライズ中はボタンを押しても機能しません。
- ファイナライズ中は電源コードを抜かないでください。

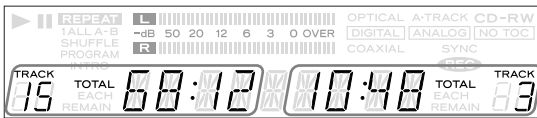
ディスプレイの表示



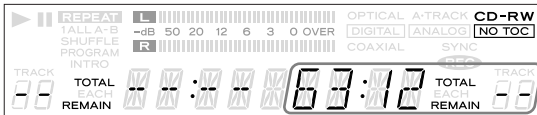
リモコンのTIMEボタンを押すと、ディスプレイの表示が変わります。

停止中

総曲数および総再生時間

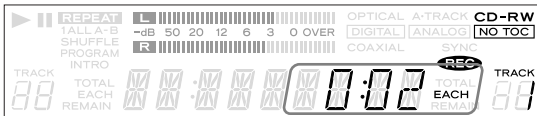


録音可能時間(CD-RまたはCD-RWの場合)

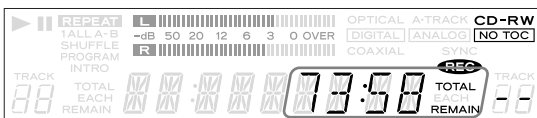


録音中

録音中の曲の録音経過時間

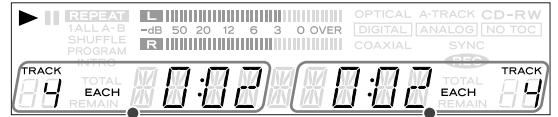


録音可能時間



再生中

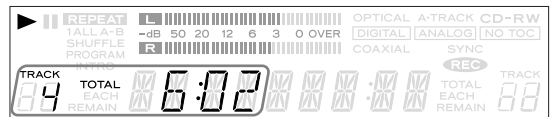
再生中の曲の経過時間



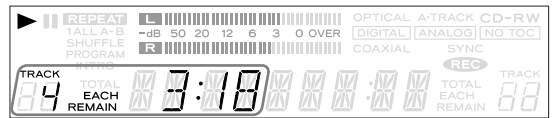
トレイ I で再生した場合

トレイ II で再生した場合

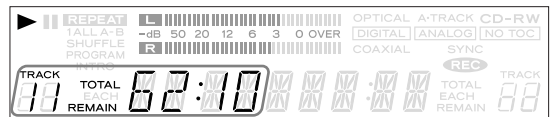
再生中のディスクの総経過時間



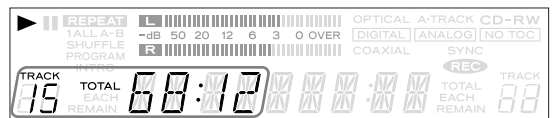
再生中の曲の残り時間



再生中のディスクの残り時間



総曲数および総再生時間



メッセージ一覧

通常メッセージ

BLANK

何も録音されていないディスクです。

CLOSE

トレーを閉めます。

COMPLETE

録音、消去またはファイナライズが完了しました。

DUBB 1X、DUBB 2X、DUBB 4X

1倍速、2倍速または4倍速でダビングします。

ERASE **

CD-RWの一番最後に録音されている曲を消去します。

ERASE ALL

CD-RWの全曲を消去します。

FINALIZE

ディスクをファイナライズします。

INCLVL **

オートトラックで自動的に曲番を付けるときの設定値。
(インクリメントレベル)

MANUAL

手動で曲番を付けます。オートトラックはオフです。

NO DISC

ディスクがセットされていません。

OPEN

トレーを開きます。

PMA WRITE

録音した内容をディスクに記録中です。
(PMA : Program Memory Area)

READING

ディスクの情報を読み取り中です。

REC **DB:D2

録音レベルの設定値。

STEP **

プログラム番号。

SYNC-1

一曲だけシンクロ録音します。

SYNC-ALL

全ての曲をシンクロ録音します。

UNFINALIZ

CD-RWをアンファイナライズします。

(**には数字が入ります。)

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、停止ボタンを押してから原因を取り除いてください。

CAN'T REC

録音/消去/ファイナライズできません。ディスクを交換してください。

ファイナライズ済のCD-RWの場合は、アンファイナライズしてください。

D-UNLOCK

デジタル入力信号を検出できません。接続を確認し、DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。

DISC FULL

曲数、または録音時間が限界なので、録音できません。

NOCD-DA:D2

"DIGITAL AUDIO"表示のないディスクには録音できません。音楽用のCD-R/CD-RWをお使いください。
(5ページ)

NO SPACE:D2

録音用のディスクの曲数、または録音可能時間がコピー元のCDに対して不足しているため、途中までしかダビングできません。

PGM FULL

すでに32曲プログラムされています。これ以上はプログラムできません。

CAN'T COPY

シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)で制限されているため、デジタル録音はできません。アナログ入力で録音してください。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない

- 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。

- システムとの接続を確認してください。
- アンプの操作を確認してください。

再生できない。

- ディスクを交換してみてください。
- 結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- トレー I では、ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。トレー II で再生するか、ファイナライズしてください。

音飛びがする。

- 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

録音できない。

- 音楽用のCD-R/CD-RWを使ってください。
- ファイナライズ済のCD-R/CD-RWには録音できません。ディスクを交換してください。
- CD-Rの録音残り時間が足りない場合は、ディスクを交換してください。
- CD-RWの録音残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかディスクを交換してください。
- 録音レベルを調節してください。
- アンプの操作を確認してください。

リモコンで操作できない。

- 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

雑音がする。

- テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕様

記録メディア	音楽用CD-R/CD-RW
入力サンプリング周波数	32kHz～48kHz
録音サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	20Hz～20kHz (再生時：±1.5dB、記録時：±1.5dB)
S/N比	92dB以上(再生時) 86dB以上(記録時)
ダイナミックレンジ	92dB以上(再生時) 86dB以上(記録時)
歪率	0.01%以下(再生時) 0.02%以下(記録時)
ワウ・フラッター	測定限界以下
入力端子	アナログ：RCA×1系統 デジタル：RCA×1系統、TOS×1系統
出力端子	アナログ：RCA×1系統、ヘッドホン×1 デジタル：RCA×1系統、TOS×1系統
ライン入力	入力インピーダンス：20kΩ 規定入力レベル：-6dBV(0.5V)
ライン出力	出力インピーダンス：1kΩ 規定出力レベル：-6dBV(0.5V) 最大出力レベル：+6dBV(2.0V)

電源	AC100V、50-60Hz
消費電力	20W
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	435×102×320mm
質量	5.1kg
動作保証温度	5℃～35℃
付属品	リモコン(RC-781) リモコン用乾電池(単3)×2本 オーディオケーブル(RCA)×2本 光デジタルケーブル(TOS)×1本 取扱説明書、保証書

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

 お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

32ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDレコーダー RW-D280

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-5353-0336 Fax:03-5353-0337

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけることがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。
その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。